

令和6年度 第1回 内野小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年4月30日（火） 13時30分から14時40分
- 2 開催場所 浜松市立内野小学校 北校舎3階 会議室
- 3 出席委員 岡田 正利、作田 悠佳、山口 暢子、桑原 純一郎、中嶋 大祐、
中道 想、大久保 公雄、金子 香穂利、伊藤 正
- 4 欠席委員 平野 岳子
- 5 オブザーバー 黒瀬 渉（きじの里放課後児童クラブ）
井田 正人（浜名協働センター）
- 6 学 校 生熊 周（校長）、山田 広美（教頭）、齋藤 隆治（教頭）、
横山 和美（主幹）、酒井 綾乃（CSディレクター）
- 7 教育委員会 井島 健蔵（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 酒井 綾乃
- 10 会長の選出及び副会長の指名

11 議長の選出

司会の山田教頭から、コーディネーターの山口委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- (1) 学校運営の基本方針について
- (2) いじめ防止等のための基本的な方針について（生徒指導）
- (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について
- (4) R6事故目標について

13 会議記録

司会の山田教頭から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・毎朝、元気に挨拶をしてくれたり、楽しそうに話をしたりする様子を見ると、充実した学校生活を送れていることが感じられ、とても良いと思う。（中嶋委員）
- ・挨拶はコミュニケーションの始まり。学校の中でも挨拶を活発にしてほしい。挨拶をすることが防犯にもなると思う。（岡田委員）
- ・挨拶を返したくても、言葉にすることができない子もいる。例えば、目をこちらに向けるなど、サインで返してくれる子もいる。言葉（挨拶）のシャワーを浴びせることで、子供たちから返ってくる反応をしっかり受け止めたい。（生熊校長）

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(2) いじめ防止等のための基本的な方針について

議長の指示により、齋藤教頭から別紙資料に基づき、いじめ防止のための基本的な方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・本人の周囲の人に、本人に関する「何か」を言われたとして、それを本人が特につらいと感じていないケースは、いじめになるのか。(岡田委員)
- ・何かをされた本人が「つらい」と感じた時点で、それは「いじめ」だという認識。学校では、つらい思いをしている子供の見逃しを防ぎたい。学校・家庭・地域の連携によって、子供たちを守っていきたい。(齋藤教頭)

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、齋藤教頭から別紙資料に基づき「夢育やらまいか事業に対する意見書」について説明があり、全員意義なくこれを承認した。

(4) R6自己目標について

- ・浜松市でもボランティアの登録を募集している。登録すると、たすきや名札などのグッズが配布され、保険の対象にもなる。内野小の防犯ボランティアの方々にも登録を勧めた方がいいのではないか。(岡田委員)
- ・「こどもの家110番」はまだ行っているのか。「こども110番」の札はあるが、留守が多く、実際に機能するのか分からない家もある。(金子委員)
- ・「こどもの家110番」は、交番やきじの里と連携して現在も行っているが、個人宅は減少傾向。(岡田委員)
- ・危険箇所マップについて。実際に子供たちが危険な目に遭った事例を挙げられると、ボランティアの必要性を強く訴えることができ、地域の人から協力が得られるのではないか。(中嶋委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他報告事項等

山田教頭から、次回会議は6月27日(木)午後1時30分から、北校舎3階会議室で開催する旨の報告があった。